

「気候変動による環境・社会影響に関する国際会議」のお知らせ

以下の通り標記国際会議を開催致しますのでふってご参加ください。

主催：気候影響・利用研究会，国連環境計画 (UNEP)，世界気象機関 (WMO)，国連教育科学文化機関 (UNESCO)，国連大学，筑波大学

共催・後援団体 (*要請中)：

日本学術会議，環境科学会，水文・水資源学会，土木学会，日本気象学会，日本建築学会，日本水産学会，日本水文科学会，日本生気象学会，日本生態学会，日本雪水学会，日本地理学会，日本農業気象学会，Commission on Climatology (International Geographical Union)，科学技術庁，環境庁*，国土庁，外務省，文部省，農林水産省，気象庁，建設省，通商産業省工業技術院*

期日：1991年1月27日(日)～2月1日(金)

場所：筑波大学 大会館

目的：(1) 国内外からの多分野の研究者が集まり，環境・社会に対する気候変動の影響について，研究方法・研究成果の高度化・共有化を推進すること。

(2) 国際的なネットワークを拡充し，気候変動による影響の研究における情報交換・研究成果の交流等の効率化を図ること。

(3) 第2回世界気候会議 (SWCC) をフォローアップすること。

プログラム：(A)モニタリング，モデリング，気候シナリオ／(B)水文・水資源への影響／(C)生物圏・農業への影響／(D)社会・経済的影響／(E)地域的影響／(F)第2回世界気候会議報告 (SWCC follow-up meeting)／(G)総合討論

プログラムは以上の7つのセッションから成り立ち，AからEまでのセッションでは当該分野をリードする基調講演者(それぞれ3名程度)が発表を行う予定。

発表予定者数：海外から約90名，国内から約60名。

使用言語：英語

参加の登録：登録費……20,000円 (バンケットおよびツアー費は別) 参加の登録は所定の参加申し込み用紙で行うこと。

問い合わせ：〒305 つくば市天王台 1-1

筑波大学地球科学系

河村 武 TEL 0298-53-4400

または 甲斐 憲次 TEL 0298-53-6704

鈴木 力英 TEL 0298-53-6851

FAX 0298-51-9764

参加申し込み用紙，宿泊予約の申し込み用紙が必要な方は，連絡ください。

日本気象学会および関連学会行事予定

| 行事名 | 開催年月日 | 主催団体等 | 場所 | 備考 |
|-------------------------|-----------------|--------------------|------------------|-----------------|
| 第11回風工学シンポジウム | 1990年12月6日～7日 | 同専門委員会 | 中央大学理工学部 | Vol. 37, No. 1 |
| 月例会「レーダー気象」 | 1990年12月18日 | | 気象庁 | |
| 日本リモートセンシング学会 第10回学術講演会 | 1990年12月18日～19日 | 日本リモートセンシング学会 | 中央大学駿河台記念館 | |
| 大気電気学会 | 1991年1月24日～25日 | | 大阪大学工学部 (大阪府吹田市) | |
| 第37回風に関するシンポジウム | 1991年1月25日 | | 気象庁 | Vol. 37, No. 8 |
| 気候変動による環境・社会影響に関する国際会議 | 1991年1月27日～2月1日 | UNEP | 筑波大学 | Vol. 37, No. 11 |
| 日本農業気象学会 | 1991年4月6日～9日 | | 大阪府立大学 | |
| 第23回海洋流体力学リージュ国際コロキウム | 1991年5月6日～10日 | | 中国 (北京) | |
| 降水洗浄と大気-地表間交換過程に関する国際会議 | 1991年7月15日～19日 | カナダ気象海洋学会・アメリカ気象学会 | リッチランド | Vol. 37, No. 8 |
| 第20回測地学・地球物理学連合総会 | 1991年8月11日～24日 | IUGG | ウィーン | Vol. 36, No. 12 |
| 『小氷期の気候』国際シンポジウム | 1991年9月25日～28日 | 日本地理学会古気候復元研究グループ | 八王子 (東京都立大学) | Vol. 37, No. 8 |